

Global Village for Students

国内でできる異文化協働体験型学習プログラム



ご提案書



Global Village for Students (GVS) ご提案書目次

- LbEのミッション Page 3
- LbEがサポートする学び Page 4
- プログラムの進行とアウトプット Page 5
- Global Education Project (GEP) Page 6-9
- GVS実績と評価 Page 10
- プログラムの様子 Page 11
- アクティビティー例 Page 12
- 学びをサポートするワークブック Page 13
- スケジュール案 Page 14-17
- Photo Image Page 18-20
- LbEのサポート体制 Page 21
- 企画運営会社 株式会社LbE Japan Page 22

LbEのミッション

世界の人々との協働を通じて明るい未来を実現する。

Creating a bright future

through collaboration

with people around the world



協働・多様性

世界中の「人」を
通じてふれる
リアルな世界



興味・関心 探究

未知の世界への好
奇心が扉をあける

LbEがサポートする学び

LbEが提供するバリュー

LbEは、21世紀に活躍できる人材育成をサポートします。
LbEの研修プログラムが提供する学びは、大きく3つ。

- グローバルマインド・スキル
- 時代が求めるスキル
- 英語スキル

LbEは、21世紀型教育の手法をもとに
開発・運営する研修プログラムで、
生徒・学生の明るい未来の実現をお手伝いします。



プログラムの進行とアウトプット

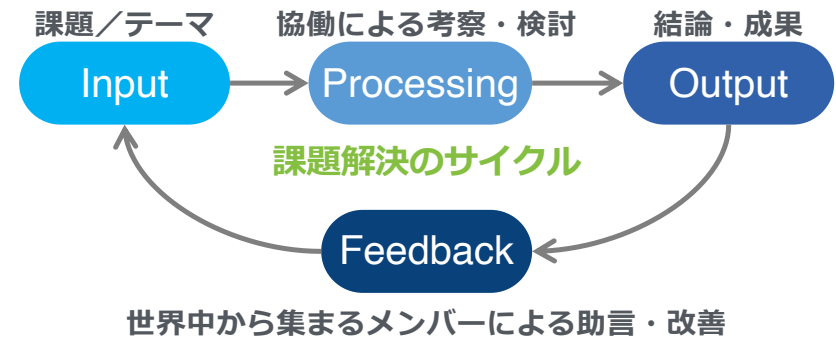
行動力と熱い思いを持つリーダーや仲間との協働。 リーダーが個々の成長を応援します。

それぞれのプログラムでは、参加者5~8名程度に、1名の留学生や海外から招聘したメンバーがリーダーとなって一つのグループをつくり、一緒に活動します。リーダーが、チームで個々の参加者と向き合いながらゴールへと導きます。多国籍のリーダーとの共通語は英語。全て英語でコミュニケーションします。

多様性と普遍性、異なる価値観からの学び。 世界への繋がりと自分の可能性への気づき。

多様な価値観を顕在化させながら協働することで、異なることの価値、普遍的な価値に気づき、世界は広く、そして繋がっていることに気づきます。さらに、そこから自分の可能性についても新たな気づきがあるはずです。

21世紀型教育の手法



Global Education Projectとは？

ミッションやルールに共感したメンバーが
プログラムや定期的な機会に集まる多国籍のコミュニティ



907人
101カ国



世界中のグローバルリーダーが集う場所

Global Education Project (GEP)



ミッションに共感したメンバーが個人的なつながりで広がるプロジェクト

- ・日本という異国で学ぶ「他者」として
- ・自分自身がこれまでの経験を通じて得た学びを
- ・より良い世界を実現するために「他者」と分かち合い行動する

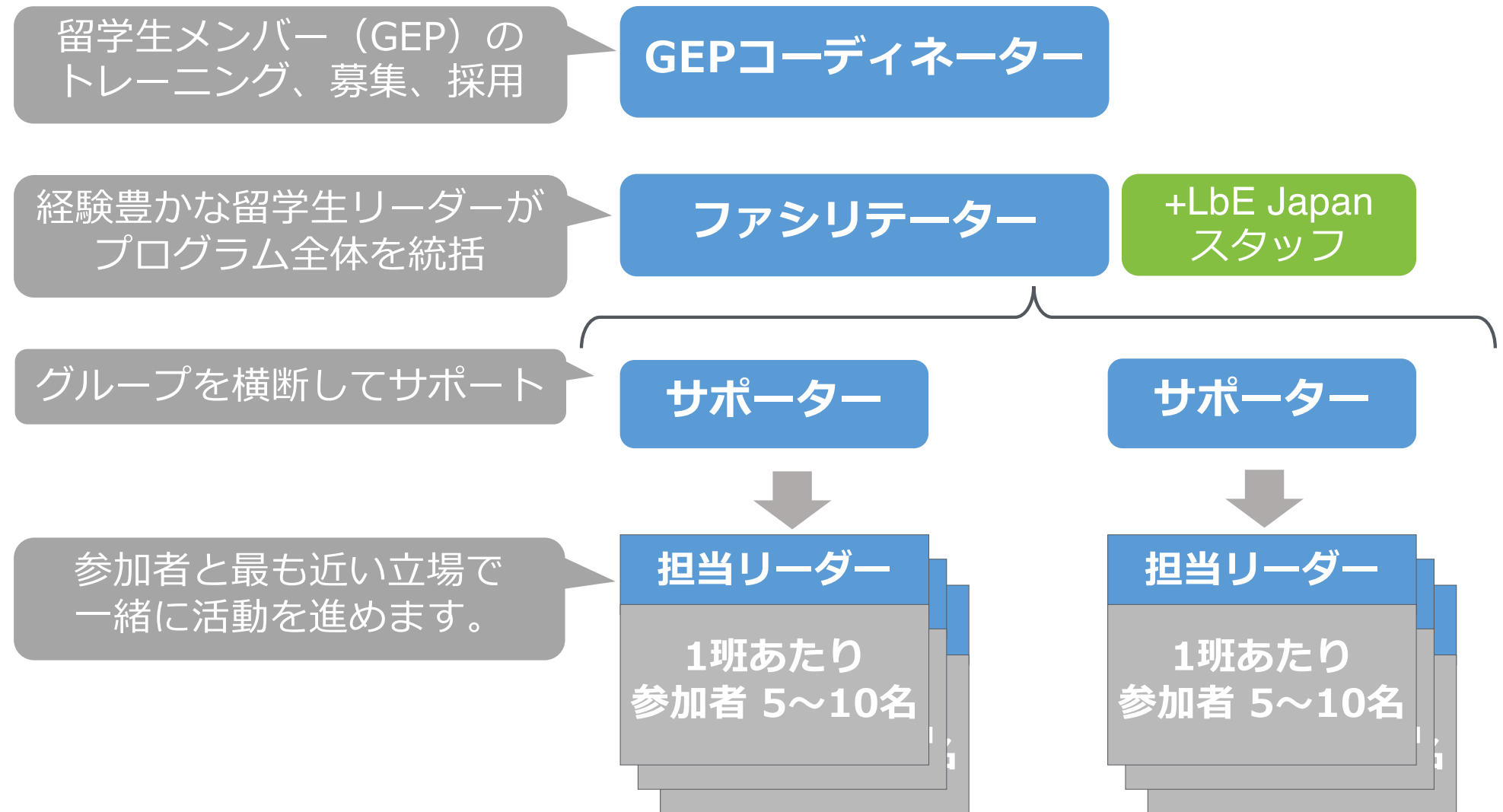
そんなマインドを持った世界中のリーダー達が集う場が**GEP = Global Education Project**です。

主要メンバー在籍校

- 九州：立命館アジア太平洋大学, 九州大学
- 中国四国：広島大学
- 中部：名古屋大学
- 関東：東京大学、早稲田大学、慶応大学、筑波大学 等
- 北海道：北海道大学
- 関西：京都大学・神戸大学・大阪大学・立命館大学 等

101カ国907名のメンバーが主体性を持って作るコミュニティ **GEP** は、日本で学ぶ留学生達が創り出す **Global Village** そのものです。プログラムをきっかけに集う彼らが、自らのアイデンティティを「**礎**」として多様な価値観にふれ、直面する課題に取り組む「**異国**」での日々の生活の延長線上に**GVS = Global Village for Students** が存在します。

Global Education Project (GEP)



担当リーダー（留学生）の役割

彼らが情熱をもって“自分の言葉”で伝えようとする姿勢が参加者の胸を打つ。
リーダーから発せられる言葉の一つ一つは、心からの「生きた」メッセージとして
参加者一人一人の心に届けられます。

なぜそうなるのか、参加者と年齢がさほど変わらない彼らだから。
国籍・宗教・文化などの背景を超えた心の叫びだから。

そして、参加者のために少しでも役に立ちたいと言う彼らの「**想い**」があるから。



「表情が変わる」・「行動が変わる」・「未来が変わる」

運営を担当する留学生の想いと能力を最大限に生かす
ことが参加者の可能性を最大に高めること

そして、もう一つ私たちが大切にしていること

それは、プログラム参加者だけでなく、企画を運営し
一番参加者に近いところにいる世界から集まった学生
をもう一人の主人公と考えていること

このような留学生達の目標感・将来観に触れることで
参加者は自分の夢や目標を考える機会を得られます

GVS実績と評価

運営事例

- 小学校、中学校、高校、大学等の学校行事として
(修学旅行・オリエンテーション合宿の一部、語学研修、事前事後学習等)
- 自治体、教育関連機関の人材育成のための宿泊研修として
- 企業のグローバル人材育成研修として



国内プログラム実施実績

2011年度	15件	2,677人
2012年度	22件	2,597人
2013年度	36件	4,947人
2014年度	70件	8,001人
2015年度	85件	10,481人
2016年度	146件	14,369人
2017年度	159件	15,758人
2018年度	173件	16,502人
2019年度	190件	19,529人

【異文化理解】

- ・ 海外や留学に興味を持つようになった 85%
- ・ 異なる意見や考え方を尊重できるようになった 93%
- ・ 国際交流や異文化を体感、理解することができるようになった 94%

【コミュニケーション力】

- ・ 挑戦すればできると思うようになった 85%
- ・ 自分の考えや気持ちを相手に上手に伝えられるようになった 93%
- ・ 英語を使用してコミュニケーションをとることができた 94%

【自己成長】

- ・ リーダーと積極的に意見交換ができた 85%
- ・ 積極的に取り組むことができた 93%
- ・ 自分の将来の生き方について考えることができるようになった 94%

プログラムの様子

Program 4 Rules !! (全てのプログラムに共通する4つのルール)

Don't be shy!

ファシリテーターやリーダーが常にサポートするので安心！積極的に活動して気づきを得ます。

Speak in English!

留学生リーダーとは共通語の英語を常に使ってコミュニケーションをします。

Mistakes are OK!

間違いは挑戦したことの証拠！たくさんの失敗から学びます。

Leave no one behind!

5~8名のグループワークが基本です。みんなで助け合って活動しましょう！



アイスブレイクゲーム

留学生とまずは仲良くなるためにアイスブレイクゲーム！終わった後は全員でハイタッチ。いつの間にか皆友達に！



グループワーク

テーマに基づいてグループ内で留学生の意見も聞きながら全員の考えをポストイットやブレインストーミングなどを使い出します。



プレゼンテーション

学びの成果として、チームでテーマに基づいたプレゼンテーションをつくり、発表します。全員が英語でプレゼンし、自身の意見を発信。



フィールドワーク

グループで協力してミッションを遂行！ICTを活用しながら、探究ポイントをまわります。ミッションは「記述・インタビュー・写真/動画撮影」など様々。

行動力と熱い思いを持つリーダーや仲間との協働。リーダーが個々の成長を応援します。多様性と普遍性、異なる価値観からの学び。世界への繋がりと自分の可能性への気づき。

Global Village for Students アクティビティー例

Explore the World ～世界探検～



リーダーがそれぞれの文化を紹介
それぞれの文化の特徴について意見交換

- リーダーの母国を訪問するかの
ごとく、文化・食・服飾等様々
なライフスタイルに触れる体験
- 伝統的な生活や風習のみならず
現代にも触れる体験。プログラ
ムテーマにより、社会課題など
の紹介を加えることも可能。
- 異文化理解を通じて多様性を学
び、自国の文化を再認識すると
共に、多様な視点の獲得が生徒
の世界を広げる機会に。

Why I Study in Japan 私が日本で学ぶ理由



リーダーが日本という異国で学
ぶことを決意した理由や将来の
夢を紹介

- 留学生が日本にどのようなイ
メージを持っているのか。日本
で学ぶことを決意した熱い思い
に触れる体験。
- 留学生の夢の背景にある経験や
思いに触れ、自分の生き方、ア
イデンティティについて考え
る機会
- 夢・目標を持つ重要性を知り、
具体的アクションを起こす意欲
につながる体験

Design Our Future 私たちが描く未来



リーダーの夢や熱い思いに触れ、
他社貢献を通じて実現したい世界
を発信するパフォーマンス課題

- 自分たちの理想とする国に必要
なものとは何かを考え、仲間と
協働し、誰もが理想と思える世
界を見出す体験
- 多様な価値観を認め、留学生と
の協働による新たな価値創造
<多文化共生>
- 自分の夢や、好きなことでどの
ように貢献できるのか。理想の
国を実現するために、自分がで
きることを発信する体験

Global Talent Show 国際文化祭



参加者やリーダーがパフォーマン
スを通じて自分の特技や個性を発
信する場

- 発表者の特技や個性に触れるこ
とで、相手を知り、関心を深め
るという豊かな人間関係構築の
機会
- 言葉の壁を超えて留学生と一緒
に盛り上がりや一体感、達成感
を共有する体験

学びをサポートするオリジナルワークブック

■ 活動で利用するオリジナルワークブック参考例

(以下は ”Global Village for Students” プログラムのワークブックの一部です)


<留学生の母国語講座 Greetings around the world>

留学生リーダーの国の言語にふれて使ってみましょう。
Let's take the opportunity to learn greetings and self-introduction in the leaders' languages.

Leader :	Country :	Language :
Greeting :		

これまでに一緒に活動した留学生リーダーの出身国を確認しよう。
Where are the leaders' countries??

Japan



4

<不思議の国 日本 Wonderland Japan >

- 留学生リーダーが不思議だと思った日本の数々の事象を知ろう。
Let's learn about the leaders' culture-shock experiences in Japan.
- 不思議だと思った事についてその理由を深めてみよう。
Let's find out the reasons for their culture shocks.
- 不思議だと思われることを基に日本の特徴を整理しよう。
Learn about the difference in cultural background by asking the leaders questions.

※ カルチャーショック：自分とは異なる考え方・慣習・生活様式などに接した際に受ける違和感やまどい

Leader :	Country :
Notes :	

Leader :	Country :
Notes :	

Follow-up question
もっとも印象に残った留学生リーダーのカルチャーショックは何でしたか？理由も書いてみましょう。
"What was the most surprising and interesting culture shock you heard from leaders? Why?"

★Step1: 自分の考えをまとめよう。
Summarize your thoughts by answering the follow up question individually.

	Culture shock	Why?
Your opinion		

★Step2: 他のグループメンバーと考えを共有してグループの意見をまとめよう。
Share your idea with group members and then summarize your group's idea.

	Culture shock	Why?
Group members' opinions		

★Step3: 他のグループメンバーと考えを共有しよう。
Share your group's idea to everyone.

Other group's opinion	
-----------------------	--

3

<留学生リーダーによるプレゼンテーション① Presentation by Leader>

テーマ：「留学生リーダーの母国の変化～第2次世界大戦で変わったこと～」
Theme: "Theme: "Changes of WWII in leader's country"
留学生リーダーの母国と日本の変化について比べてみよう。
Let's compare the changes of WWII between leader's country and Japan.

★Step1: グループメンバーと協力しながら、留学生リーダーと日本の変化についてまとめてみよう。
Summarize changes between leader's country and Japan with your group members.

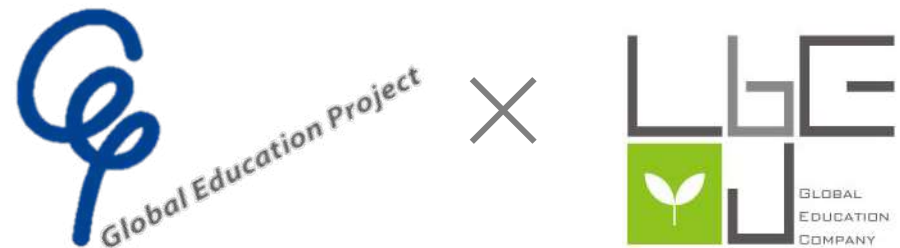
	Leader's country:	Japan:
Before		
	↓	↓
WW II		
After		

★Step2: 気づいたこと、感じたことについてまとめてみよう。
Summarize what you realize and feel.

5

サンプルスケジュール

- 研修期間は、半日～自由に設定
- 研修テーマ・内容はご要望に応じてアレンジ可能
- 教育的な希望やレベルに基づき、最適なプランをご提案



テーマ 異文化(世界)を知り自国(自分)を知る

進路観醸成

自己理解

異文化理解

社会/多様性理解

協働活動

時間	単位	活動名	活動内容	目的
13:00		会場到着	留学生による歓迎	
13:15	全体	オリエンテーション	運営担当者・司会(MC)から研修の趣旨・ゴール・期待することについて説明、一緒に活動するスタッフ、留学生メンバーの出身国紹介を通して多様な価値観が存在する場であることを認識する	研修内容理解 主体的な参加意識の醸成 ■
13:30	班別 全体	アイスブレイク	相互のコミュニケーションが必要なゲームを通じてお互いの緊張をほぐし、スムーズな活動が行えるよう参加者同士、留学生リーダーとの関係を築く	異文化間コミュニケーション 関係構築 ■
13:45	班別	不思議の国日本 留学生から見た日本	15分毎に留学生リーダーが交代し、日本で受けたカルチャーショックを発表。留学生が不思議に思った「日本」を知り、その理由を考え、確かめ、海外との違いから日本の特徴についての理解を深める 終了後、全体で活動を振り返る	自国文化の再確認 多様な価値観の実感 自分や留学生のアイデンティティに触れる ■
14:15	班別	休憩	参加者同士、留学生リーダーとの自由交流	
14:30	班別	留学生による プレゼンテーション 質疑応答	15分毎に留学生が交代し、以下内容で発表を行う 代表留学生によるプレゼンテーション テーマ:「なぜ日本で学び その経験を祖国にどう生かすのか」 *異文化体験の意義 *祖国への貢献や自身の夢とのつながり *夢(目標)を実現するためへのプロセス	プレゼンテーション 発表の仕方とともに、考え方、世界事情を学ぶ キャリアデザイン 進路観・貢献意識の醸成
15:30	班別	オピニオンエクスチェンジ (ディスカッション)	トピック:「夢実現(成功)の鍵」 夢実現のために必要な「マインド(姿勢・考え方)」と、「行動」について グループで話し合い、最も重要な3項目を選びます またその理由も考えます	プレゼンテーション準備 成果の可視化 英語コミュニケーション ディスカッション 協調性、リーダーシップ 発言力、積極性、論理性 ■
16:15	全体	オピニオンエクスチェンジ (発表・共有)	グループディスカッションの内容を全体に発表・共有する	プレゼンテーション 効果的な発信
16:30	各自	行動宣言	研修での学びを今後どう行動に変化させるのか、行動宣言を記入	具体的行動への移行
16:45	全体	修了式	ファシリテーターによる研修全体の振り返り 参加者および留学生のコメント	
17:00		プログラム終了	お疲れ様でした!	

テーマ「世界の人々と考える平和」

進路観醸成

自己理解

異文化理解

社会/多様性理解

協働活動

時間	単位	活動名	活動内容	目的
12:00		会場到着	留学生による歓迎	
12:15	全体	オリエンテーション	運営担当者・司会(MC)から研修の趣旨・ゴール・期待することについて説明、一緒に活動するスタッフ、留学生メンバーの出身国紹介を通して多様な価値観が存在する場であることを認識する	研修内容理解 主体的な参加意識の醸成 ■
12:30	班別	イントロダクション	自己(相互)紹介活動 5分毎に留学生とテーマを変え、全員が自己紹介を行う お互いの自己紹介を通じて感じたことを共有	異文化間コミュニケーション 他者理解・自己表現 ■
12:45	班別 全体	アイスブレイク	相互のコミュニケーションが必要なゲームを通じてお互いの緊張をほぐし、スムーズな活動が行えるよう参加者同士、留学生リーダーとの関係を築く	異文化間コミュニケーション 関係構築 ■
13:15	班別	不思議の国日本 留学生から見た日本	15分毎に留学生リーダーが交代し、日本で受けたカルチャーショックを発表。留学生が不思議に思った「日本」を知り、その理由を考え、確かめ、海外との違いから日本の特徴についての理解を深める 終了後、全体で活動を振り返る	自国文化の再確認 多様な価値観の実感 自分や留学生のアイデンティティに触れる ■
13:45	班別	休憩	参加者同士、留学生リーダーとの自由交流	
14:00	班別	世界探検 Explore the World	留学生リーダーが自国の文化や生活を紹介 参加者は15分毎にブースを巡り、人を通して世界の文化に直接ふれる終了後、全体で活動を振り返る	グローバル 이슈 留学生の出身国の事情に触れる ■
14:45		休憩	参加者同士、留学生リーダーとの自由交流	
15:00	全体	代表留学生による プレゼンテーション 質疑応答	代表留学生によるプレゼンテーション テーマ:「私が考える平和・自分が貢献できること」 留学生リーダーの発表内容は、 ・自国の背景 ・過去及び現在の平和を阻害する出来事 ・そのような経験から留学生が考える平和とは ・平和な社会づくりに自分がどう貢献できるか	プレゼンテーション 発表の仕方とともに、考え方、世界事情を学ぶ ■
15:45	班別	オピニオンエクスチェンジ (ディスカッション)	テーマに基づきグループでディスカッションを行う テーマ「Peace Project-世界を平和にする為にできること」 グループ内で以下3点について意見交換を行い、意見をまとめましょう ■平和を阻害する要因とは何か、その理由は ■平和をもたらすものとは何か、その理由は ■平和実現のために貢献できることは何か、その理由は	プレゼンテーション準備 成果の可視化 英語コミュニケーション ディスカッション 協調性、リーダーシップ 発言力、積極性、論理性 ■ ■ ■

時間	単位	活動名	活動内容	目的
16:30	全体	オピニオンエクスチェンジ (発表・共有)	グループディスカッションの内容を全体に発表・共有する	プレゼンテーション 効果的な発信
17:00	各自	行動宣言	研修での学びを今後どう行動に変化させるのか、行動宣言を記入	具体的行動への移行
17:15		宿泊ホテルへ移動		
18:00	班別	夕食交流会	留学生リーダーと一緒に食事をしながら、2日間の活動を振り返る	留学生リーダーと一緒に食事 (食に関するトピックについて 情報交換④) ■
19:00	全体	グローバルタレントショー	国際文化祭 参加者・留学生双方による特技・文化・芸能の発表 留学生発表内容例: 伝統舞踊・歌・楽器演奏・民族衣装ファッションショーなど	■
19:45	全体	修了式	ファシリテーターによる研修全体の振り返り 参加者および留学生のコメント	
20:00		プログラム終了	お疲れ様でした!	

Photo Image



Photo Image

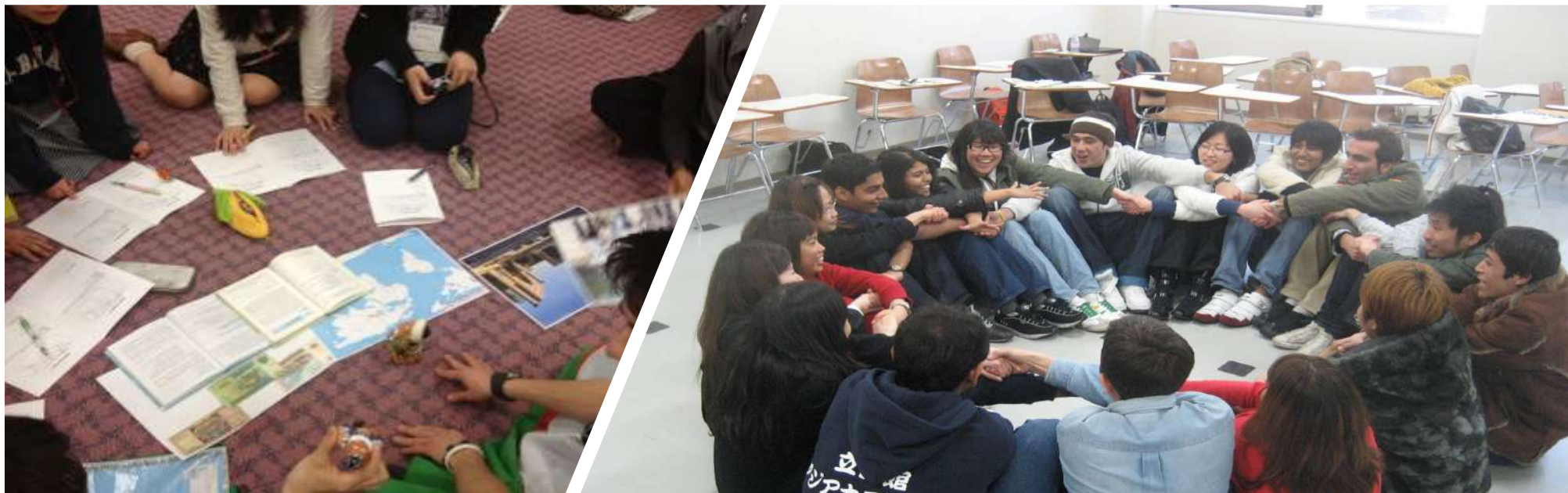


Photo Image

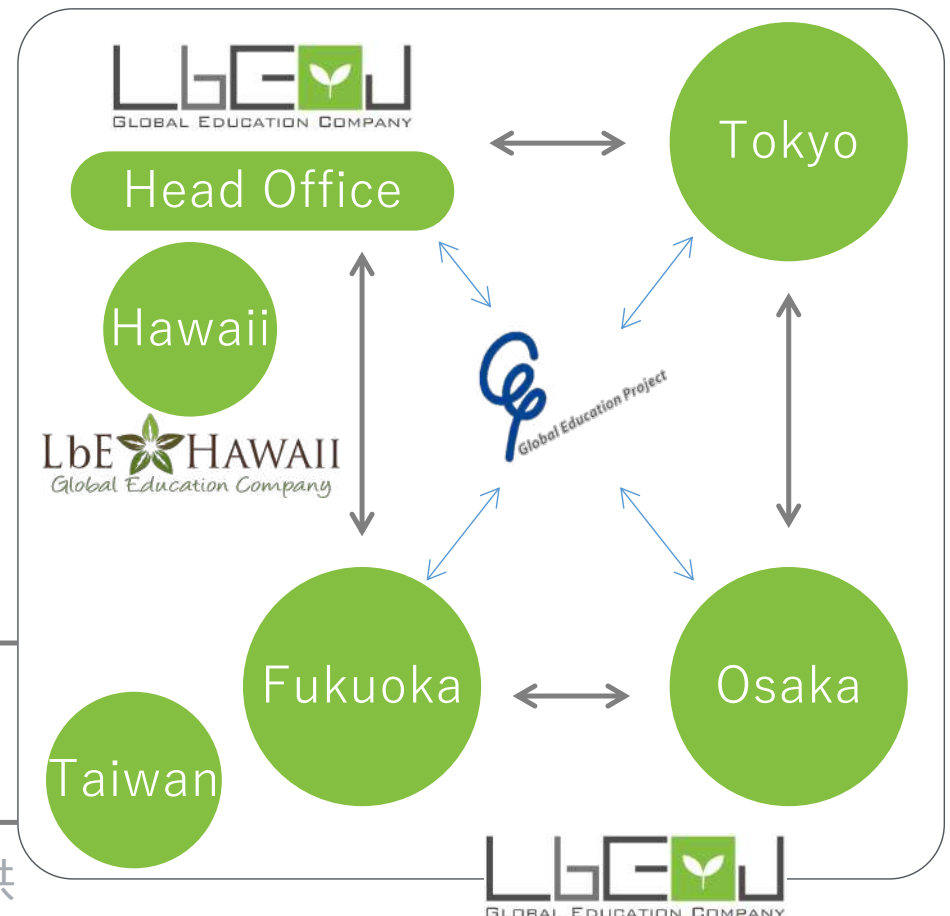
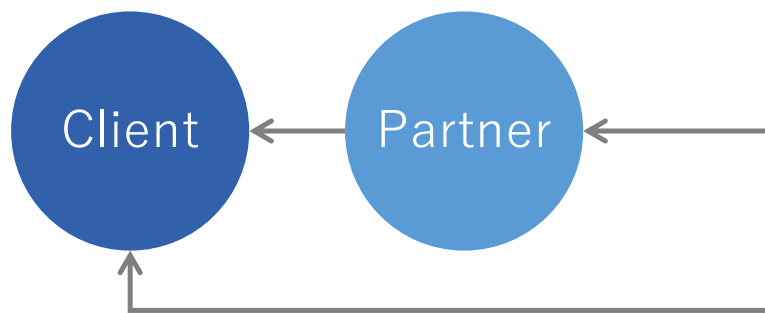


LbEのサポート体制

全国、そして海外に広がるLbEのネットワーク

東京・大阪・福岡そして海外、各拠点のチームメンバーがGEPメンバーと共にサポート。日本全国ほぼどこでも、またハワイ、台湾でもプログラム提供が可能です。

LbEは、営業所や支店といった単位での運営体制ではなく、役割に基づいたOne Teamで運営されます。本社は福岡にあります。東京・大阪・福岡とハワイ、そして台湾を拠点とするチームメンバーが、全国のパートナーとクライアントをサポートします。その活動の中心には、日本で学ぶ留学生の任意団体Global Education Project (GEP) があります。



日本全国各地とハワイ、台湾でプログラムを提供

Global Village for Students (GVS)は、株式会社 LbE Japanが企画・運営しています
「表情が変わる」・「行動が変わる」・「未来が変わる」

グローバル人材育成が私たちの仕事です

想い

緊密化する世界で自らが持つ可能性を最大化し、
「世界中のどこでも活躍できる日本人」を育成したい

使命

世界中の人々に人生・世界観が変わる、教育的な体験を提供する

株式会社 LbE Japan は、グローバル人材育成を専門とする会社として、過去10年間で12万人以上に教育サービスを提供してきました。「国際社会に貢献できる人材を育てる」ことをミッションとするプロジェクト、Global Education Project のメンバーとのパートナーシップのもとに様々な教育事業を展開し、今では年間約200団体の教育機関・企業の皆様、23,000人以上の方々にご利用いただいています。



Learn by Experience — 多様な人々との協働体験を通じた学び —



株式会社 LbE Japan 福岡本社
〒810-0074 福岡市中央区大手門1-8-8
TEL 092-791-6581 FAX 092-791-6582
Email info@lbejapan.co.jp
Website www.lbejapan.co.jp

LbE Japan (東京オフィス)
LbE Japan (大阪オフィス)

